



奈川の人口	
令和7年7月1日現在	
総世帯数	284世帯
総人口	532人
男	262人
女	270人
発行 奈川公民館	
発行者 奥原広幸	
編集者 公民館編集委員会	
印刷 (株)プラルト	

学校行事「わらび採り」

五月二十三日、奈川小中学校のわらび採りがありました。

昭和三十二年から続く伝統行事で、当日は大勢の地域の皆さんの協力もあり、目標の二百キロを大きく超える二百七十キロの収穫がありました。わらびの売り上げは、図書購入や児童・生徒会活動に充てられます。

六月二十日には、お世話になった地域の方々に学校にお招きして昼食会が開かれました。娘さんが小学校の頃から一緒にわらび採りをしている方は、「もう何年参加しているかわからない」との事。また、初めてのわらび採りだった小学校一年生は、「わらびのおみそ汁がおいしい」と感想を話していました。



わらび採り
270キロ収穫



お世話になった方々と給食

第四十三回 野麦峠まつり



五月二十五日、あいにくの雨により野麦峠を歩く記念山行は中止になりましたが、奈川文化センター夢の森で「雨天代替プログラム」が実施されました。

「奈川の街道の歴史と岡谷製糸業の工女さんの姿」をテーマに、元奈川公民館長で街道の歴史に詳しい勝山裕康さんと岡谷蚕糸博物館館長の高林千幸さんの講話があり、繭から糸を繰る実演も行われました。参加者の方からたくさん質問があり、より奥深い内容を伺うことができました。

その後、交流会が開かれ、奈川の春を感じるウド汁が参加者全員に振る舞われました。

ふるさと学習

五月九日に奈川小中学校のふるさと学習が行われました。

今回は奈川地区の歴史について理解を深めるため、元奈川公民館長の勝山裕康さんに講師をお願いし、長野県史跡「旧野麦街道」などを巡り、その歴史を学びました。

子どもたちは、当時この街道を往來した人々に思いを寄せながら、集落のはずれにそっと佇む石仏の説明に聞き入っていました。

ふるさと学習が、郷土への愛着を育む良い機会となるよう願っています。





ふれあい健康教室

五月九日、福祉ひろばにおいて、「こころにホッとコンサート」と題して、ふれあい健康教室が開催されました。ヴァイオリンを牛山孝介さん、電子ピアノを渡辺しおりさんに演奏していただきました。

知っているクラシック音楽から童謡、歌謡曲といろいろなジャンルの曲が演奏され、参加者の皆さんは生演奏にとっても感動していました。



奈川ピカイチ

「清水牧場チーズ工房」に伺いました！

清水牧場は、奈川の山奥標高1,600mに広がる牧場です。目がクリッとしたブラウンスイス牛を飼っています。

■「清水牧場チーズ工房」を立ち上げた経緯

子供のころから牛飼いにあこがれていた清水則平さんは1982年岡山県で牧場経営を始め、勉強を始めるとチーズ作りに行き着きました。「世界の牛の図鑑」から山岳地帯のブラウンスイス牛に惹かれ、山岳チーズを作りたいと願うようになっていきました。1989年高山地帯を目指し長野県北御牧村へ。17年間この地で過ごし、そして2005年、松本市奈川に理想の牧場と巡り合うことができたのです。夫妻は信州の伝統野菜を作ることに同じく、山岳チーズ作りにこだわり、人の繋がりと信念でこの奈川の地へ来ることができました。

■「清水牧場チーズ工房」のおすすめ

山のチーズとバカスチーズ。そして、フレッシュチーズのプティ・ニュアージュは、甘くてミルクーなしあわせチーズです。

■「清水牧場チーズ工房」の今後の挑戦

奈川の気候風土にあったブラウンスイス牛が、健康で良いお乳が出るように見守り続け、良いチーズを作っていきたい！と熱い想いをお話されていました。



のんびりと草を食むブラウンスイス牛



清水牧場チーズ工房ショップ

【清水牧場チーズ工房】
営業時間：10:00～16:00
定休日：火・水曜日 年末年始
場所：松本市奈川51
電話：0263-79-2800

鑑賞音楽会

六月十二日、奈川文化センター夢の森において、安曇・大野川・奈川小中学校合同の鑑賞音楽会がありました。

今年度はパーカッショングループの演奏を楽しみました。

終了後は奈川小中学校に場所を移し、みなでお弁当をいただきながら、いろいろな交流の多い一日になりました。

サントリー天然水工場見学

五月二十六日、福祉ひろば・奈川公民館の共催でサントリー天然水北アルプス信濃の森工場と安曇野ちひろ美術館の見学を行いました。

サントリー天然水北アルプス信濃の森工場では、北アルプスに降った雨や雪がおよそ二十年もの歳月をかけて地層で磨かれ天然水になるしくみを見学しました。

安曇野ちひろ美術館では、いわさきちひろの作品や、世界の絵本画家の作品、絵本の



歴史資料等を見学しました。参加者からは、「天然水工場では自然環境の大切さを再認識した」などの声がありました。

野麦路

近くにありながら、これまで行かなかった大桑村の阿寺溪谷に行ってきました。SNSで「死ぬまでに行きたい場所」と話題になっていて気になっていたのですが、この日は天気にも恵まれ、ようやく訪れることができました。

案内には「観光地として整備された場所ではなく自然のありのままの姿を残している」とありますが、実際に行ってみるとその言葉通りの景色が広がっていました。川の水は本当に澄んでいて、光が差し込むとエメラルドグリーンに見える様子がとてもきれいでした。周りを囲む新緑の木々も鮮やかで、清々しい空気の中で自然をたっぷり感じられました。

上流の方にある駐車場までは道が少し細く、運転に気を使いましたが、車で川のすぐそばまで行けるのは便利だなと思いました。こんなにきれいな場所が身近にあったなんて、また季節を変えて訪れてみたいですね。

(編集委員)